

Walk

KINJO [ウォーク]

金城大学短期大学部
広報誌

#08

2023

年発行

やっぱり学園祭はいい!! 3年ぶりの金城祭!!

やっとやっとやっと…3年ぶりに模擬店がならび、お客さんが来ての金城祭が復活しました!直前まで感染者が急増すればどうなるかわからない、という雰囲気もありましたが金曜日の午後から模擬店テントを建て、各教室で展示準備がひと段落して徐々に暗くなる大学駐車場ステージにて前夜祭がスタート!実行委員長による開会宣言の後、ダンス部のパフォーマンスがはじまり…大学祭が戻ってきたんだな、という感慨がありました。この2年間は、コロナ禍でも知恵を絞って盛り上がり!とオンライン学園祭を実施してきましたが、やはりみんなが顔をあわせた大学祭っていいですね。金城の学園祭は県内でも一二を争う出店数で、盛り上がっている大学祭です。今年は実習などを控えている学部は出店を見合わせたり、これまでのゼミクラブでの取り組みが途絶えてることもあったのか店舗数はコロナ前に比べると少なかったのですが、来年はもっともっと盛り上がってくれるでしょう!金城祭!バイブス全開!

バイブス全開

西南幼稚園と廣瀬ゼミ ダンスで交流

ビジネス実務学科の廣瀬ゼミと西南幼稚園がダンスで交流を行いました。歌ったり踊ったりすることが大好きな子どもたち!コロナ禍で実施が延期されていましたが、楽しみにしていた分喜びも大きかったようで、全園児が集まりニコニコ笑顔で踊りました。金城祭で披露したダンスパフォーマンスには子どもたちもうっとり。もっとも一緒にダンスをしたかったけど…最後は玄関までついて行き「また、来てねえ。」と大きく手を振り見送っていました。



ビーサンとばし in 徳光海岸 SDGsで海を学ぼう!

8月27日、早朝から徳光海岸に集まり、海の豊かさを守るということを考えるイベントを実施しました。総勢70名ほどで海岸清掃を行った後、クロダイ稚魚を放流、そしてビーチサンダルとばし大会を行いました。白山市 SDGs 推進大使である「ぶんぶんボウル」さんが司会として盛り上げてくださり、終始楽しいイベントとなりました。これらの活動はBSよしもの番組の「チークーズ a GoGo!」で見れます!



新年を迎える 門松づくり

毎年年末になると、新年を迎えるにあたり学長自ら門松づくりを行っています。環境農学を専攻し、金城に勤める前は京都で庭師として働いていた経歴を持つ加藤学長。2023年も皆さまにとって良き年になることをお祈りし、学長の裏ピースをお届けします。



Interview

幼児教育学科

柴田英登



心理学は具体的で 実践的な学問

幼児教育学科で心理学を担当されている柴田先生はいつも穏やかでレトロ可愛い車に乗っている優しさが滲み出ている先生です。

人の心は読めません

「真面目だね」と言われることもあります、頭の中ではふざけたことを考えて怒られない程度に表に出しています。たまに怒られますが、学生からは自分のことを見透かされてるのでは、なんて言われることもあります。授業の初めに必ずいいますが、僕は人の心は読めません。人の行動や考え方というのは、これまでの経験が姿を現したものです。そういった人の仕組みを考えるのが心理学です。

心理学を学ぶ道へ

中学では野球、高校ではサッカーをしていて今でも運動は見るのもするのも好きです。でも仕事としてやりたいことは特になく子どもでした。大学進学を考えた時に大学のパンフレットを並べて…苦しい数学は嫌だし、人のことは幾つになっても大切だし…といううっすらとした興味と消去法で心理学を選びました(笑)大学院に進学する前くらいから、発達障害児の療育に関わるようになりました。発達障害を持っている方は、集団の中で困ることが多くても個人でみれば魅力的で面白いと思うことも多い。よく誤解されているような「発達障害の人は対人関係を嫌う」ということではなく、周りの人と良好な関係が築けていけば、その関係性の中でいろんな対人スキルも少しずつ身につけていきます。そういう方の理解とサポートをできるようにになりたいと思い、その時ちゃんと勉強に身が入った気がします。

教員として勤める中で

金城に勤務する前は、発達障害支援センター職員、小中学校のスクールカウンセラー、病院の心理士、大学の学生相談室など多い時

は週に7箇所くらい非常勤で勤務していました。なので朝起きてまず曜日と勤務先を確認するのが日課でした。金城では何気ない会話を通して学生と関わることが多くて楽しいです。授業や学生対応をする中では基本的に、相手を変えようというよりも、まずは自分の行動を変えようというスタンスでいます。例えば勉強を嫌いな人たちがいますが、初めから嫌いなわけではなく勉強をする中で報われることがなかった、怒られたとかで、途中で嫌になってしまう。じゃあ自分ができることは何か。その一つの対策として、授業でコメントシートを書いてもらい、それに返信することをずっとやっています。自分にも良いフィードバックがあり、学生から声を掛けてくる回数が増えるように思います。何より楽しいです。人数の多い授業なので、授業準備より時間がかかってしまうんですけど(苦笑)。

古いデザインと猫が好き

1960年代の古いデザインが好きです。車やレコード、昔のドットが荒いゲームとか。ノスタルジーも少しあるのかもしれませんが、その時代のデザインが好きなんだと思います。あと

…猫が好きで、猫に囲まれていると幸せです。実家にはたくさんいるのですが、今は飼えないのでいつも猫を探してしまいます。動物はなんでも好きです。本当は猫を飼いたいですけど…生活といろいろ折り合いをつけた結果ウーパールーパーを飼ってました。顔出すと気づいてくれたりちよっと懐くんですね。猫を飼えたら僕の生活は完成するので、ちょっと危ないな、とも思ってたけど、結婚を諦めたら猫を飼いたいと思います(笑)



<プロフィール>

柴田英登(しばたひでと)

幼児教育学科 講師
公認心理師/臨床心理士
中京大学心理学部心理学科
上越教育大学大学院学校教育研究科
学校教育専攻臨床心理学コース
臨床心理学、応用行動分析学
保育の心理学(子ども家庭支援の心理学等を担当)

新型コロナウイルス感染症は収束したわけではなく、引き続き感染に関する意識は必要ですが、今年度は3年ぶりに対面の学校行事が戻ってきました。「バイブス全開!!」は今年度の金城祭のテーマです。久しぶりの開催とあって実行委員たちも手探りのなかの開催でした。これまでいろいろと制約があった学校生活でしたが、それぞれの学生生活でエモーショナルな体験ができたか、語ってもらいました。

〈バイブス全開な出来事〉

司会:ではよろしくお願ひします。この2年間で皆さんにとってバイブス全開な出来事を教えてください。

宇野:私は学友会長として学園祭の運営をしたんですが、学園祭らしい学園祭が初めてだったからとても印象に残ってます。高3から学園祭がなかったから…。当日に模擬店がずらっと並んで、お客さんもいっぱいきて、ステージもみんなで盛り上げて…。

武田:私も学園祭は準備からほんとに楽しかったです。クラスで一体となって取り組むことが久しぶりだったので、模擬店大賞に選ばれたいね!とか言いながら、みんなで一生懸命看板作りをしました。これをきっかけに連絡先を交換したり、普段も話すようになったり、友達の輪が広がりました。

松島:私は美術学科で普段は絵を描いてるんですけど、企業案件でキャラクターが選ばれたり、あと今年の卒業制作展のメインポスターに選ばれたのがほんとに嬉しくて! 家族とか親戚とかバイト先の友達にポスター選ばれたから見に来てって言って、周りからすごい褒められた時、めちゃめちゃバイブス上がりました。

学長:今年度は3年ぶりにコロナ前に近い形で金城祭ができたのは良かったですね。短大生活のなかで、授業以外の活動に取り組むのはほんとうに大事なと改めて感じました。松島さんのポスター見ましたよ。赤と青のカラフルで元気な女の子のポスター。金城らしさを感じました。この2年間、松島さんにとって作品を形にして誰かに見てもらうということは、どんな経験で、どんな意味があったんだろう。

松島:こうして美術館で作品展示をするのは初めてですし、多くの人に見てもらうことは大きなモチベーションです。公開オーディションや卒業制作は自分の魅力を見せる絶好の場だと思っていて、とても大きいです。中学校の時は、うちに閉じこもっている時期もありましたが、自分をさらけ出せるのが絵を描くことの良さだとすごく思います。

学長:武田さん、宇野さんはどう? ゼミや特化教育の成果を人前で発表するときの緊張感や高揚感はどうでした。それこそバイブス全開な、気持ちが高ぶる体験はありましたか?

武田:私は矢澤ゼミで、白山市の魅力をSNSを通して伝えていく活動をしていました。1年間頑張ったことだったので、絶対うまく伝えたいと思って、グループで役割分担しながらPowerPointもこだわって作って、すごい緊張したけど頑張ってゼミ発表しました! 美川のおかえり祭とか、サマーフェスティバルに参加して、とってもたくさん人がお祭りに来て驚いたし、発表したいことを15分で収めるのがたいへんでした。活動を通して白山市のいろんな魅力に触れることができ、とっても愛着を持ちました。

宇野:実習で、子供の前でなにかをすることはいっぱいしてきたんですけど、ミュージックフェスティバルみたいにクラスで一つのことに取り組むのは貴重でした。みんなのアイデアがぎゅっとまとまって、これやろう!ってなっていくのはとっても楽しかった。当日はお客さんも楽しんでくださったけど、自分たちが1番楽しかったです。みんなで円陣組んだり、試合でもないに(笑)

〈2年間で変わったこと〉

司会:入学前と比べて、この2年間で変わった実感はありますか?

松島:私は高校の時と比べて…短大に入った瞬間、自由だなんて思うことが増えた気がします。シャイニーリーダーズに入ったり、午後の授業とか受けて考え方も変わってきたと思うし。心理学で受けた知識とかもすぐにバイト先で活かそうしてみたり…。高校の時も明るいって言われてたけど、もっと良くなった気がするかな。自分の個性みたいなのが爆発した感じがします。

武田:私は学ぶ楽しさを知りました。高校までは、決められた時間割で授業を受ける感じでしたが、短大では自分の興味を中心に授業を組めるので、あーこれも興味あるからやってみようとか…。毎日学校行きたいって思っていました。「美文字演習」では、学んだことを活かし

学長



学生

バイブス全開!!

テーマ

て自由に文章を書く課題があったんですが、父と母へ20年分の感謝の思いを色紙に書きました。丸みを帯びた太い字で、あたたかい気持ちを表現しました。両親も喜んでくれて家に飾ってあります(笑)

宇野:幼児教育学科では、最初は子供が好きっていうだけの人がほとんどですけど、子供が泣いている時はこう思ってるとか、お母さんが子供に怒ってしまうことだって理由があるとか、授業で学んでいく中で「こういう保育士になりたい」という理想がみえてきました。最初は漠然と保育士になりたいって目標だったけど、今はみんなそれぞれ違う目標に向かっていて、保育士っていう大きな目標は一緒だけど、みんなバラバラ、違った個性がある保育士になれるような気がします。

学長:短大は2年間しかないけど、この2年間だけでも充分自分が変わるきっかけがあったみたいですね。みんなの思いや努力と短大のサポートが噛み合っとうまくいったことがたくさんあったようで、聞いてるだけで嬉しくなりました。願うことならば、この2年間が皆さんの今後の人生の中で絶対忘れられない2年間になってもらえれば嬉しいなと思いました。

〈新しい生活への意気込み〉

司会:春から新しい生活が始まりますが、意気込みをお願いします。

松島:私もう1年研究生として残りますが、来年から姉と2人暮らしをすることになり、親離れる時期が近づいています。環境が変わって自分で管理しなきゃいけないことも増えるけど、自分の好奇心旺盛な部分を活かして「人生、意外となんとでもなるぞ」といろんなことにチャレンジしていきたい。もっと絵の実力を磨きたいと思って研究生になったので夢に向かって頑張っていこうと思います。

武田:私は来年から建築関係の事務職に就きます。今までと違い、知らない知識や初めてのことが多いと思うので、意欲を持って積極的にたくさんの方を毎日学びたいです。学ぶことの楽しさや自分で積極的に学ぶ姿勢を大切にしながらやっていきたいです。

宇野:私は野々市のこども園に就職するんですけど、短大で出会った仲間と一緒に頑張っているんだ、っていう気持ちを忘れたいようにしていきたいです。同じクラスで一人だけちょっと…病気で天国に行っちゃった子がいるんですけど、その子の分も、一緒に保育士としての思いをつないで、金城を誇りに思っ頑張りたいと思います。

〈学長にひとこと〉

学長:僕が皆さんと同じ20歳の頃はどうかだったかなあ、あまり将来のこととか考えてなかったなあ…。いろいろ思い出しながら聞いてました。今は、学長という立場で金城短大の学びがどうあるべきか、どうやったら皆さんに満足してもらえるかということを日々考えているわけだけど、この2年間の学びが、すぐには役に立たなくても、生涯にわたってこの時の仲間だとか楽しさだとか、いろんな場面で生きてくるようなら、「よっしゃ、僕たちもがんばってやろう」って気持ちになれます。なかなか皆さんとこうやって話をする機会が少ないので、ほんとに良い機会でした。最後に要望とか感想とか学長に言いたいこと、なにかある?

宇野:えーっと、そうですね、去年ハロウィンの時やった仮装イベント。学長自らコスプレしてってなかなかないですよ。ああいうのすごい面白いと思います。

武田:川柳大会の時もサンタさんの格好してる学長のポスターが玄関にあって、学長って堅いイメージがあったので、私あんまり勉強得意じゃないんですけど、こんなに頭いい方がこんな面白いことしてて、やっペーなって思っ見てました(笑)

松島:今日の学長対談で、学長になにを聞くか姉に相談した時に、姉から学長先生ってどんな人なんって聞かれて、『ヴァイ

オレット・エヴァーガーデン』見て泣く先生やよって伝えました(笑) 学長先生いいと思います!

武田:あの、今思ったんですけど、一回でも学長先生の特別授業みたいのがあったら楽しそうだなと思いました。

学長:1年の最初に一回やったよね。建学の精神の話とか、ジョジョの話とかしませんでしたっけ?

武田:ああ! ありました! あれ、もう一回!

学長:ああホントやね。なかなか機会がなかったなあ(苦笑) そうそう、最後に卒業式で式辞を述べますが、皆さんが退屈しないような内容を必死で今考えてます。僕にとって、最後の学長式辞っていうのは、ある意味僕からの最後の授業です。今日皆さんから聞いた話も参考にしながら作りあげるのだから…。自分でハードル上げてちょっと怖いけど、楽しみにしてください。



<p>加藤 博 金城大学短期大学部学長</p> <p>出身大学: 大阪大学 出身大学院: 京都府立大学大学院 専門分野: 環境農学 趣味: 篠笛、香道、鉱物鑑賞</p>	<p>武田 咲月 ホテル観光コース ビジネス実務学科2年</p> <p>出身高校: 富山県立石動高等学校 趣味: 旅行、雑貨屋巡り 進路: 名工建設株式会社</p>
<p>宇野 心弥美 幼児教育学科2年</p> <p>出身高校: 遊学館高等学校 趣味: ドラマ鑑賞、ピアス 進路: こども園</p>	<p>松島 明日香 マンガ・キャラクターコース 美術学科2年</p> <p>出身高校: 遊学館高等学校 趣味: 絵を描くこと、歌を歌う聴くこと、ゲームすること 進路: 美術学科研究生</p>

キラキラのキャンパスライフを歩む
学生たちをご紹介します

KINJO WALKER

石川県立大聖寺高等学校出身
幼児教育学科
小路 美帆
22

諦めずに
挑戦した2年間

保育者を目指して金城短大に入学し、この2年間を通して私はいろいろなことに挑戦し、たくさんのかを学ぶことができました。

1年生のときの初めての実習では、実際に子どもたちがいる現場に行つて学ぶのが初めてだったこともあって、とても緊張しながらの実習だったように思います。実習では失敗しながらも、保育者としてどのように子ども達と関わっていけばいいのかを少しずつ学ぶことが出来ました。



実習での学びや先生方から教わった授業の中で、子どもたちの思いに耳を傾け、その思いを受けとめ、尊重していくことが大切になってくるといことや、保育者は子どもの命を預かる大事な仕事であり、子どもたちが安全に楽しく過ごすことができるように環境を整えていくことが必要になってくるといなど、多くを学ぶことができました。私がこのように学ぶことができたのは、金城短大の先生方や実習先の先生方が教えてくださったからだと思っています。

また、ミュージックフェスティバルでは、ホールでのピアノ独奏やマーチングでのドラムメジャーなど、なかなかできないような経験をする事ができました。特に、ドラムメジャーは私にとっては初めての挑戦で、最初はなかなかうまくできず失敗することも多くありました。でも、これまでの学生生活の中で失敗をしても諦めずに努力すれば必ず成功に繋がっていくことを知ることができ、それをマーチングにも活かして、諦めずに何度も練習を繰り返した結果、ミュージックフェスティバル当日は、今までの中で一番良い発表が出来ました。



私はこの2年間で、いろいろなことに挑戦したことで、また新たな自分を見つけることができ、自分自身に自信を持つことができたと感じています。保育現場に出てからも、何事にも前向きにどんどん挑戦し、新たな自分を見つけながら、これからも成長していきたいと思っています。

遊学館高等学校出身
ビジネス実務学科
北川 優月
23

躊躇する前に
一歩踏み出せ

金城短大に入って一番身に付いたことは社会人基礎力だと思っています。社会人基礎力とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力のことで、私がこの2年間、積極的に心掛けてきたものです。

2年生の時は学生会委員に立候補し、執行部として活動しました。最初の大仕事は3年ぶりの金城祭!! 対面での金城祭を経験した人がいなかったため、模擬店班の会議や、イベント会社との打ち合わせ、消防署や保健所へ模擬店出店の許可を取るなど、夏休み中に何回も登校し準備にあたりました。次の体験は、ビジネス実務学科のリーダー研修に参加したことです。同年代の友達以外とどうコミュニケーションをとっていくべきかを学ぶことができました。最後は2年生のゼミナール活動です。首都圏から来る修学旅行生のための兼六園ガイドの作成、サマーフェスティバル白山では白山市と連携しながらステージイベントを企画運営しました。SDGsを学



ながら子供たちとサンダル飛ばしを行ったり、美川町の方々と一緒に「北前船と美川の関係」を調査しポスター発表したり、...まだまだ思い返すだけでいろいろな活動があります。

このような体験を通して、多くの方との関わりを持つことで、「大きな事を成功させることの嬉しさや達成感を感じる」、「責任を持って最後までやり遂げる」、「多くの方々とコミュニケーションを取る機会が得られること」が体験できました。

なにごとにもまず断らずに取り組むことで、先生方から声を掛けられ、学校や学科の仕事もどんどん増えていきました。興味のない人から見たら面倒なことかもしれませんが、多くの方々と関われることはとても良い経験でした。私が学生生活の中で学んだことは「面倒くさい」と躊躇する前に一歩足を踏み出せば何かしら楽しいことを見つけれられるということです。



2年間、本当にあっという間に過ぎ去ってしまいました。これから身に付けた社会人基礎力をもっともっと磨き上げ、社会人になっても多くの人と関わりながら、活躍できるような人材を目指して頑張っていきたいと思っています。

富山県立大門前高等学校出身
美術学科
デザイン・ビジネスコース
浜浦 咲綺
24

たくさん自分と
向き合った

国立大の滑り止めとして受験した金城短大、本命でなかったこともあり、入学当時のモチベーションはあまり高くありませんでした。私みたいな人も割といるのではないのでしょうか。しかし、入学後3ヶ月間で全コースの体験ができる事が「何にでも挑戦したい」という欲張りな私にとって本当にありがたいものでした。

デザイン・ビジネスコースは特に魅力的でしたし、週一で映像コースの先生の授業を受講できたのもとても贅沢な時間だったなと感じます。けれども、この2年間「期限」という名の鬼が追いかけてくることに何度苦しんだことか。「あと1日ほしい…」と何度思ったことか。期限を守る厳しさと、限られた時間の中でモノを創り上げ、客観的な意見を聞いて情報を整理する大切さを学びました。ここで得た学び

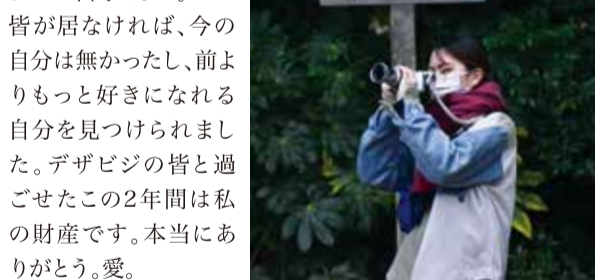


を糧に、社会に出て「期限」という壁を乗り越えていこうと思います。

また、私を最も成長させてくれたのは仲間の存在です。美術に関わる人間は個性的でそれぞれの色が強いけれど、一つも同じ色はなく、混ざり合

うだけでワクワクさせてくれる、そんな人ばかりです。自分もそうありたいと思いながら、自分は何が好きか、どう生きたいか、みんなと何が違うか、違うからこそ何ができるのか。毎日たくさん自分と向き合い、自分という軸を創り上げられた2年間でした。

皆が居なければ、今の自分は無かったし、前よりもっと好きになれる自分を見つけれられました。デザビジの皆と過ごせたこの2年間は私の財産です。本当にありがとう。愛。



令和4年度 教員紹介

3月末日まで在職の3学科の専任教員をご紹介します

B
ビジネス実務学科
(11名)
BUSINESS



C
幼児教育実務学科
(14名)
CHILD



A
美術学科
(7名)
ART



国際シンポジウムでゼミ発表

ビジネス実務学科の廣瀬ゼミの学生4名が、3月11日、12日に島根県の隠岐島で行われた国際海洋ゴミシンポジウムに参加しました。このプログラムは隠岐ジオパークを会場に、大きな国際問題である海洋ゴミ問題を身近な地域から考え、解決を図っていくために、国内や海外のジオパークの取り組みの発表やゴミ拾い活動等を行うものです。本学生はシンポジウムに参加し、英語での口頭発表や、ゴミ拾いリーダーなどの

プログラムに参加しました。日本全国や世界のジオパーク推進委員のメンバーと交流することで、国際的視野も広がり学生たちにとってとても有意義な活動となりました。



金短サミット2022 vol.2

2月24日グランドホテル白山にて、学生リーダー組織「Shinny Leaders」の3学科合同研修「金短サミット2022.Vol2」に臨みました。発創デザイン研究室の富永先生をお迎えし、「みんながって、みんないい」を考える～バラバラを超えた先にあるものをテーマにワークを行い、仲間と共に自己を振り返り、発見することを目的とした会となりました。今年度のShinny Leaders全員が顔を合わせるのは久しぶりでしたが、グループごとに知恵を出し合

う中で、一人ひとりが良い表情になっていきました。研修後は、交流会として久しぶりにみんなで夕食を楽しみ、お楽しみ企画中も、学科や学年の垣根を超えた交流が見られ、大いに盛り上がりました。



3年ぶりの開催となった



体育祭



以前は、フットサルにソフトボール、バレー、ドッジボール、卓球、テニスと球技中心のラインナップでしたが、運動があまり得意でない人も楽しめる体育祭をテーマにパタンク、ソフトダーツ、e-sportsといったゲーム性が高い新競技を加え楽しみました。途中から雨が降り出しそうでしたが、過ごしやすい温度の中最後は大縄跳びや綱引きなどクラスみんなで盛り上がる行事となりました!

2022.04→2023.03

金城短大(全体)

『白山菊酒クッキー』を開発・商品化!

ビジネス実務学科・越野ゼミでは、(株)吉田酒造店から提供していただいた米粉や酒粕を活用して『白山菊酒クッキー』を3年かけて開発し、このたび商品デビューしました。また、商品パッケージは美術学科の学生がデザインし、白い小箱には白山菊酒にちなんで白山や稲穂、とっくり、おちょこなどが描かれ、薄い掛け紙のオレンジ色のシルエットが印象的なパッケージとなっています。『白



販売: 田中屋(白山市東新町)、本学購買部 7個入り540円(税込)

山菊酒クッキー』は、石川県のオリジナル酒米「百万石乃白」から日本酒を作る際に出る酒米の削り米粉や酒粕を活用した、ひとくちサイズのソフトクッキーです。食べるとほんのり口の中にお酒の香りが広がります。



ご卒業おめでとうございます 令和4年度 第46回 卒業式

卒業生のみなさん、おめでとうございます。4年ぶりに松任文化会館大ホールにおいて卒業生一同が勢揃いし、ご家族の方々を招いた盛大な卒業式を挙行することが



できました。コロナ禍で始まったキャンパスライフ。さまざまなことが制限される中でもそれぞれが情熱を燃やした2年間を過ごし、この晴れ姿の日を迎えられたことが喜びとなって溢れていました。これからのみなさんの活躍を楽しみにしています!



新入生合宿研修

ビジネス実務学科新入生の恒例「新入生合宿研修」は今年度も宿泊を伴う研修はできないということで、4月9日に新入生研修を行いました。新入生研修の目的は3つあります。①キャンパスマナーとコミュニケーション、②友だちネットワーキング(クラス内外、上級生との交流)、③チームワーキングです。短大の授業が始まって3日目に開催で



きた今年度は、まだ知り合いもない学生や新たな学生生活に思いを抱いている学生にとっては最高のタイミングだったと思います。学科として新入生に伝えておきたい、SNSマナーや飲酒・喫煙に関してなど、また今年度



からは新たに迎えた先生による金融教育などを研修に盛り込みました。2年生リーダーは、1年時にビジネス実務学科リーダー研修に参加し、コミュニケーションについて学んでから、この研修に臨んでくれました。参加した新入生からは、レクリエーション研修、マナー研修への評価が高いといった結果でした。この研修をきっかけに、もっともっと学校に興味をもってもらい、勉学だけでなく、学年を超えた交流

やキャンパスライフを充実させてくれればと思います。



インターンシップ研修

令和4年度のインターンシップでは、コロナ禍でも、夏期も春期も実施することができました。新型コロナ前は80名ほどの学生が下記インターンシップに行きましたが、今年度実施できたのは夏期15名、春期は31名が予定されています。本学のインターンシップ研修は、就職活動や社会人生活に役に立つ「実践研修」であり、事前学習2回、事後学習も行います。事前学習では、企業へ事前面談を行うアポイントメントの取り方から始まり、インターンシップ中の取り組み方まで、先輩たちからのアドバイスを披露しながら、より効果的なインターンシップを行う準備をします。事後学習の報告会では、1人3分間のスピーチがありますが、どんな企業で行ったのか、インターンシップの内容、成功・失敗体験、気づき、今後に生かしたいことなどを発表します。夏期インターンシップの報告会ではプレゼンソフトを使って発表する学生も増え、内容も充実してきています。多くの学生にインターンシップに参加してもらい、自己成長、自己実現のきっかけにしてもらいたいと思っています。



アウトドア演習 白山登山とサイクリング

集中授業「アウトドア演習」は、ここ2年間、コロナ禍のためすべて宿泊なしで実施をしてきましたが、今年度は、3年ぶりに宿泊を伴った白山登山を実施しました。まず、5月に「サイクリング」と「火起こし体験」を実施しました。このときは、まだコロナ禍を考慮して日帰り、かつ「火起こし」は火を起こして終わりという残念なものでしたが、「サイクリング」だけは、すばらしい天気のもと、全員が「道の駅瀬女」までの往復40kmを走破しました。「白山登山」については、8月31日に出発し、白山室堂で宿泊、翌9月1日に下山するというスケジュールでした。あいにくの天候で、1日目から曇りときどき雨という状況下で、翌日も雨予報だったことから、翌朝のご来光はあきらめ、室堂到着後に体力のある有志で、御前峰登頂をしました。翌日は、雨の中の下山でしたが、全員が元気に戻ってきました。ひさびさの白山登山で、疲れ切り、帰りのバスでは全員熟睡していましたが、学生たちは目標のひとつである「アウトドアに親しみ、楽しむ」ことができたのではないのでしょうか。



ビジネス実務学科

2022.04 → 2023.03



国内旅行研修(東京)

9月13日から15日まで、ホテル・観光コース、フードビジネスコース2年生の国内旅行研修を実施しました。県外に出て研修を行えるのは3年ぶりになります。研修前には、4コマ分の事前研修を行い、改めてラグジュアリーホテルのサービスについて学び、またグループワークをする際の観光ルートを作成するワークなどを行いました。今回宿泊したラグジュアリーホテルは、1964年に開業したホテルニューオータニ東京。いわずと知れたホ



テル御三家の1つです。赤坂という都内屈指の立地に現代では考えられないような規模の荘厳なホテルが建っており、その姿を見るだけでも迫力を感じます。1967年に公開された「007は二度死ぬ」(主演ショーン・コネリー)の中で登場した舞台の1つ(劇中では大里化学本社ビル)としても描かれており、歴史を感じます。このホテルでインスペクションを行わせていただき、巨大宴会場やスイートルーム、昭和時代に流行したホテルショッピング街などを見せていただき、古き良き日本のホテルサービスについて体験することができました。これ以外にもテーマパーク研修やホテル・観光コースは浅草でのツアー、フードビジネスコースは築地でのツアーを行い、無事研修を終えることができました。



廣瀬ゼミ「海を救おう大作戦」



ショップでは、海洋ゴミで作成したデコパーツと紙粘土を使ってオリジナルの写真立てを作りました。販売やワークショップはイオンモール白山の1階イベントスペース、能美市のイベントにおいて、多くの来客者に海洋ゴミについて知識を深めてもらうことができました。また、活動の内容はBS吉本でも取材放送され、2023年3月11日に島根県の隠岐の島で行われた海洋ゴミの国際シンポジウムにも参加し、英語で発表を行いました。

廣瀬ゼミでは、今年度「海を救おう大作戦」というテーマで、海洋ゴミをリメイクしたアクセサリーの作成販売を行いました。また子供達向けに、海洋ゴミを利用したグッズ作成のワークショップを行いました。海岸清掃のゴミ拾いのイベント等に参加し、アクセサリーの素材を集め、工夫してキーホルダーなどを作成しました。ワーク



「私の職場、私の仕事」卒業生座談会

10月28日ビジネス実務学科1年生の「キャリアデザイン演習I」の授業で、卒業生による座談会を行いました。座談会のテーマは「私の職場、私の仕事」です。今回は4名の卒業生が登壇し、現在の仕事内容や仕事で工夫していること、自分の時の就職活動、学生時代に身につけて



おいて役立ったことなどを語ってくれました。特にこの年代は、就職してコロナ禍にとっても苦勞した学生です。コロナ禍においても、いろいろ工夫して業務をこなされている話に在学学生はしっかりメモを取って聞き



入っていました。学生時代に役立ったことや学生時代にしておくべきことについては、やはり資格取得の重要性を話される方が多く、履歴書に多くの資格を記載できるメリットを強調されていました。またインターンシップに参加して実際の職場を体験すると就職先探しにも迷わないことなどを話されていました。学生のレポート内容では、「やはり学生のうちに取れる資格はできるだけ取得すべきだと思いました。」「自分の知らない仕事は他にもたくさんあるので、視野を広げて、今興味のある仕事だけでなく、色々調べて自分に合う就職先を見つけたいと思いました。」などのコメントがあり、これから就職活動に取り組んで行く学生にとっては、貴重な体験になりました。

秘書検定 準1級面接練習

ビジネス実務学科では1年次後期に秘書検定準1級にチャレンジしています。準1級には筆記試験に合格後にロールプレイング(役割演技)による面接試験があり、対策講座では、準1級を取得した2年生がわかりやすく具体的に指導をしています。面接試験はあいさつや上司への報告、来客への状況対応の3つの課題があり、面接の流れに沿ってお辞儀のタイミングやあいさつの仕方、話し方など何度も練習しながら上級秘書にふさわしい応対を確認していました。また、入退室から着席の仕方、髪型やメイク、スーツなどの身だしなみなどにも詳しく一人ひとりに丁寧にアドバイスをしていました。今回の面接試験で身につけたお辞儀の仕方や言葉づかいなどを今後の就職活動や学生生活などに役立ててほしいと思います。



金城ビジネス学会

2月9日、毎年恒例の「金城ビジネス学会」が開催されました。金城ビジネス学会では、ビジネス実務学科の2年生が1年間にわたって行った研究活動の成果を発表します。今年度は、3年ぶりに対面での開催となり、オンライン併用のハイブリッド型開催でしたが、産業界や地域の協力団体、他大学の方のべ25名をお招きして、1年間の集大成を見ていただきました。このような緊張感の中、26件の発表が行われました。1年生のみ、密を避けて、別室でのオンライン聴講となりましたが、それでもポスターセッションが3年ぶりに復活し、先輩から直接話が聴ける機会を持つことができました。4月からは、1年生が新2年生となってゼミ活動を行います。





おやこひろば 『たんぱりん』開設

4月26日、大学・短大連携プロジェクトとして「KINJOおやこひろば『たんぱりん』」を開設しました。地域の子育てを支援し、未就園児およびその家族との交流を図る取り組みです。「大学や短大だからこそできる子育て支援」として、保護者、教員、学生がともに学び合うことに大切な意味があると考えています。『たんぱりん』は、大学・短大の学生への公募によって決まった愛称です。太鼓とシンバルの2つの音が合わさり多様な演奏を楽しむことができる楽器「たんぱりん」のように、子どもと大人が様々な形で関わり、楽しい時間を過ごせるようにという願いがこめられています。5月から、木曜日10:00～15:00の開所としましたが、午後からの利用者はほとんどいないため、10月からは10:00～13:00としました。コロナ禍ということもあり、一日10組までに限定し、事前に予約をしていただく形で活動を行っています。「学生さんたちのするパネルシアターや手遊びで、親子ともども楽しんでいる」「他の赤ちゃんやお母さんだけでなく、

学生さんとの交流が子どもにとって良い刺激になり、私自身も気分転換ができて嬉しかった」「学生さんたちが我が子に優しくかわってくれ、我が子がとても嬉しそうにしている姿をみて幸せに感じた」という感想が多く記載されていました。子育て中の慌ただしい時間の中で、ホッとしたひとときになれば嬉しいです。学生にとっても、授業や実習で得ることのできない体験は、大きな学びになっています。また、大学ならではの取り組みとして、教員が保護者に向けて専門分野の話をするができます。「将来保育者になる学生や、保育の資格を持った教員やスタッフがいるので、他の施設に遊びに行くよりも安心して遊ばせることができる」「相談や話を聞いてもらえるので、また参加したい」という声もありました。まだまだ課題は多くありますが、利用者からの声を聞きながら、子育て中の保護者が子育てを楽しむことのできる場、学生も学ぶことのできる場にしていきたいと思っています。



KINJO特化 成果発表会

2年生の「KINJO特化」では、木曜日に90分授業が3コマ連続で組まれています。特化によって内容・実施方法は様々ですが、90分の枠に縛られない柔軟な授業展開や、学外での「インターンシップ」なども可能です。感染症対策により、昨年度は対面での「成果発表会」ができませんでしたが、今年度は2月10日に、予定通り実施しました。学生たちは、自分たちの学びをカタチにすること、1年生に伝えることを励みに頑張りました。発表会当日は、1年生が次年度履修する特化の発表会にそれぞれ参加し、2年生から多くのことを学ぶとともに2年目の学びに臨む自覚を深めました。



乳児保育

「午前の部」はインターンシップで体験した中から乳児の思いが表れている印象的な場面の発表、「午後の部」は、授業内容のトピックをグループごとにまとめ発表しました。ギャラリーから質問を受けたり、助言の先生方からコメントをいただいたりして、緊張の中にも学びを確認できた充実した時間になりました。

障害児保育

「保育実習」「教育実習」で出会った「かわいさが難しい子ども」について記録をまとめ、カンファレンスをし、成果発表会へとつなげました。一人あたり約10分の発表と質疑応答でしたが、そ

れぞれの学生の子どもに対する「思い」を感じさせる内容となりました。

音楽表現

一人ひとりが一生懸命に取り組んだピアノ曲を発表し、マーチングドリルを披露することもできました。マーチングはミュージックフェスティバルでも発表しましたが、「もう一度全員でパフォーマンスがしたい!」という学生たちの熱い思いに応え、指導者である西方先生にも協力していただき実現しました。1月に新しく取り組んだ曲も含め、かっこいい姿を見せることができました。



造形表現

「プロジェクト活動」「絵本づくり」の発表を同じ会場で行ない、「プロジェクト活動」はポスターセッション、「絵本づくり」の方も展示だけではなく作者と参加者が絵本を介して対話する形を初めて試みました。



どの学生も、それぞれのやり方で相手に合わせて10回くらいは語り、発表を重ねながら学びを深めるとともに、他者に聴いてもらう嬉しさ、語る楽しさを実感したようです。



幼児教育学科

2022.04→2023.03

ミュージックフェスティバルウラ話

12月27日、松任文化会館ピアノで「第44回 ミュージックフェスティバル」が開催されました。2年間の学びの集大成として、2年生全員が、音楽表現・身体表現・造形表現を総合した舞台発表を行いました。ホームページおよび、公式YouTubeでも発信しているため、ここでは「総合表現演習」「特化音楽表現」の授業担当教員だけが知っている「本番までのウラ話」をお伝えします。

ウラ話 No.1 「総合表現演習」ステージ

2Aクラスの授業は4講時。本番直前にエンジンがかかった。

「うちゅうせんのうた」チーム

2年生全8グループの中でも、一番練習していたグループでした。ダンス部のMさんが中心になり、動きのフォーメーションを考え、その図を画像共有して、毎回スマホで見ながら納得いくまで練習していました。衣装もレインコートにテープを貼って宇宙服に見立て、小道具もたくさん作っていました。



「ありがとうの花」チーム

動きを考える人(Aさん、Uさん)が中心になって進めたグループでした。この2人がいなかったらできていませんでした。ポンポンを使って花の形にするのは全員で考えたアイデアです。



2Bクラスの授業は1講時。

3グループとも真面目に取り組んでいた。

「にんげんっていいな」チーム

Oさんが中心になり仲良く取り組んでいました。足を上げるのを楽しそうにやっていたのが思い出されます。本番まで衣装なしだったので、「幼教スタイル」で出るかと思いきや、赤いリボンなどを効果的に使って、とても華やかなステ



ージになったと思います。

「世界中のこどもたち」チーム

Tさんがバシバシやっていましたね!毎時間細かく、時間をかけて動きを考えていました。「万国旗を作ったら?」という提案に対して、100均で買った画用紙を上手く切り合わせて世界各国の国旗を完成させ、とても舞台映えがしました。



「サンタが街に…」チーム

12月末開催ということもあり、この曲を選びました。最近のプリント楽譜はとても充実していて、洒落た伴奏譜が見つかり取り組んでもらいました。何より、Wさんが一生懸命に練習したおかげで安心でした。「可愛く見せるには?」を目標に取り組んでいました。



2Cクラスの授業は2講時。

いつも元気だった。

「さんぽ」チーム

「私たちは仲間外れチーム…」なんてジョークを言っていました。そんなことはなく、しっかりと形にして完成しました。動物が登場する歌詞のところは、よく考えて動きを付けて好評でした。当日は2人が欠席となってしまいました



が、焦ることなく限られた人数で乗り越えられました。

「虹の向こうに」チーム

このチームはとにかく輪になって考えて、意見を出し合い取り組んでいたチームです。レインコートやカラフルな傘、そして腕にはスズランテープで作ったブレスレットなど、工夫が見られました。このブレスレットは、前日に単色から虹色(レインボー)に作り替えた力作です!



「鬼のパンツ」チーム

やる気がある日と、ダメな日がありやすいチームでした。ダンス部のMさんが中心になり、短時間で振り付けを決めて、勢いで作った感じ。衣装は、昨年度の卒業生が「私たちはできなかったの、後輩たちに…」と残していったカラフルなビニール袋を使用し、鬼のパンツを作りました。全員が楽しそうで、インパクトも強く、1年生の感想にも「一番強く印象に残った」という記述が多数ありました。



11月～12月の最後まで、3クラスの授業がある月曜日は、季節外れの晴天に恵まれました。2Aの授業が終わるころ、日本海側の方角に夕日に照らされながら、飛行機雲が3つ同時に見えていたのが忘れられません!

ウラ話 No.2

「特化音楽表現」ステージ

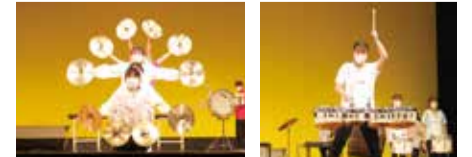
「ピアノ独奏」ステージ

自分の好きな曲を誰よりも練習し、有名な「美女と野獣」のメドレーを感情豊かに弾き、映画の世界を見事に表現しました。



「マーチングドリル」ステージ

KINJO特化音楽表現履修学生は、マーチングに1年間取り組みました。コロナ禍で今回は3年ぶりの開催となり、先輩たちのステージを見ないまま、手探りで自分たちの表現を作り上げてきました。誰もが知っている、となりのトトロの有名なメロディが会場全体に響きわたると、友達の初めて見せる姿に、クラスメイトからも声援が飛び交い、1年生からは「こんなにスゴイことができるようになるんだ!」という感想が多く寄せられました。



国内研修旅行 — 瀬戸内芸術祭 —

8月29日より2泊3日の日程で瀬戸内芸術祭へ行ってきました。初日は倉敷市の大原美術館を見学し、セザンヌやドガ、グレコなど海外の名画や岸田劉生、梅原龍三郎など近代日本の作品に触れました。2日目は直島に渡り、国内外の現代美術が揃う瀬戸内国際芸術祭を見学しました。小さな島ですがいたるところに作品や美術館が点在し、快晴の中、学生はレンタサイクルなども利用して自然とアートを全身に浴びてきました。最終日は大阪中之島美術館で、近年再び注目されている岡本太郎の作品を見ることができ、その鮮烈な人生に学生も新鮮な刺激を受けていたようです。



20th Kinjo Art Showcase

3月1日、金沢21世紀美術館シアター21において、ファッション・スタイリストコースによる第20回ファッションショー Kinjo Art Showcaseを開催しました。ここ2年間は感染症対策として学生・教員のみ観覧する中での実施でしたが、今年是一般客を入れて行い、童話の魔女をモチーフとした作品や、80年代をテーマとした作品等を発表しました。また演出正面スクリーンには、ゲーム・映像コースの学生が中心となって制作した映像が投影されステージに華を添えました。平日開催にも関わらず多くの観客の来場があり、暖かい空気に包まれたステージとなりました。

NOTOHIBAKARA BAKERY アートショッパープロジェクト

加賀木材株式会社様との共同プロジェクトとして「NOTOHIBAKARA BAKERYアートショッパープロジェクト」にデザイン・ビジネスコースの1年生が取り組んでいます。今年で3年目となる同プロジェクトは、紙袋の制作を通じて、林業の役割や里山への取り組みを伝え、また次世代のアート人材育成を応援する取り組みです。9月にベーカリーやカフェの見学と研修、能登ヒバの展示林の視察等を行い林業における現状の課題や歴史を振り返りました。そして1月には学生たちが「能登ヒバ怪獣アスナロン」のコミック作品や、能登ヒバの木で掘ったクマの写真作品など個性豊かな提案を行い、審査をしていただいた加賀木材様から「年々レベルが上がっている」とご好評を頂くことができました。この後ご検討いただき、来年春には3代目の新しいアートショッパーが誕生します!



2022.04→2023.03

美術学科

第7回 プロジェクションマッピングin聖興寺

2年生は白山市のシンボルである「加賀の千代女」をより広めようと千代女アートプロジェクトに取り組んでいます。この取り組みは、千代女をキーワードに、白山市の文化や歴史を広く伝えることを目的としています。これまで18種類の千代女キャラクターを制作し、イベント企画やグッズ提案などを展開してきました。この取り組みの一つである第7回プロジェクションマッピングin聖興寺が11月19日に開催されました。ゲーム・映像コースの学生による映像作品が本堂の金屏風に映し出されると、即興ユニット「あっKey!」さん達によるピアノと堅琴の素晴らしい即興演奏が加わり、とても幻想的な空間が広がりました。



第46回

卒業制作展

金城大学短期大学部 美術学科

3月8日から12日まで金沢21世紀美術館の市民ギャラリーにおいて第46回卒業制作展を開催しました。SDG'sやサステナビリティをテーマとした作品や、縦スクロールマンガであるwebトゥーン、3Dプリンターで出力した立体造形作品など、時代性を感じる作品も多く見られました。その中からゲーム・映像コースの城崎こよみさんが制作した、飛行船をカスタマイズするゲームプランニング作品「NOAH」や、デザイン・ビジネスコース山先柚芽さんが制作したジーンズのリメイク・ブランディングの提案「REVIVAL JEANS」など4作品が優秀賞として選ばれました。例年より1ヶ月ほど遅い会期での日程でしたが、学生の春休みシーズンとも重なり大変多くの来場者がありました。

令和4年度 美術学科受賞・採用・連載一覧

第49回石川県デザイン展	金賞 銅賞 奨励賞	大根凜(2年) 福田英優圭(2年) 高橋由衣(2年)
いしかわ伝統工芸フェア 武将イラストコンテスト	最優秀賞 優秀賞 佳作	中田美咲(1年) 山西柚葉(2年) 西村綾華(1年) 相木美夏(2年) 新森彩絵(2年) 辻乃々花(2年)
インテリアデザインコンペ2022	入選	小栗亜都/木下実菜(2年)
第13回ポスターグランプリ	コニカミノルタジャパン株式会社賞 入選	中川花音(2年) 柴田惇(2年) 山先柚芽(2年)
桂紀章株式会社純鋼製 焼肉プレートデザイン	最優秀賞(採用) 優秀賞	谷井里亜菜(2年) 大根凜(2年) 柴垣李咲(1年)
第78回現代美術展	入選	岡部光莉(1年) 尾山日菜(1年) 池田百花(1年)
第28回マスターズ大東京展	奨励賞 佳作	西谷百加(研究生) 北山菜(2年) 津田歩美(2年) 瀬戸杏樹(1年生) 加治美咲(2年) 三ツ田光里(2年) 岸本千風(2年) 南里奈(2年)
国際公募 第54回国際公募 新院展	優秀賞 入選	岸本千風(2年) 三ツ田光里(2年) 加治美咲(2年) 南里奈(2年)
第17回 白山日創展	特選 入選	三ツ田光里(2年) 岸本千風(2年) 加治美咲(2年) 南里奈(2年)
第46回公募日創展	努力賞 入選	三ツ田光里(2年) 新田彩花(1年) 小松里奈(1年) 藤根みどり(1年) 宮村夏生(1年) 湯口楓(1年) 加治美咲(2年) 岸本千風(2年) 南里奈(2年)
令和4年度石川県民大学校 ポスター等図案コンクール 千代女アートプロジェクト	優秀賞 入賞 採用	福田英優圭(2年) 鹿野那奈(2年) 井田真緒(2年) 松田芽衣(2年) 権元聡(2年) 和仁心音(2年) 中川花音(2年) 谷井里亜菜(2年) 泉屋汐里(2年) 新森彩絵(2年)
白山菊酒クッキーパッケージ	採用	北島咲耶(2年)
北信越学生卓球連盟・連盟シンボルデザイン	採用	谷井里亜菜(2年)
NOTOHIBAKARA BAKERY アートショッパープロジェクト	採用	田中凜月(1年)
第45回千代女あさがおまつりポスター	採用	大根凜(2年)
イオンモール白山1周年祭こびとづかん塗り絵	採用	柴田惇(2年) 浜浦咲綺(2年) 中川花音(2年) 齊藤愛花(2年) 大根凜(2年) 鹿野那奈(2年)
白山市共同募金委員会赤い羽根あったか募金ポスター 白山市議会便り表紙	採用 採用	梅本歩(1年) 西田ことみ(2年) 新森彩絵(2年) 藤沢優沙(研究生) 中野陽菜(1年)



第78回現代美術展 入選 「少女崇拜:序」 西谷百加



第78回現代美術展 入選 「(^_^)v」 北山菜



第78回現代美術展 入選 「cafe」 津田歩美



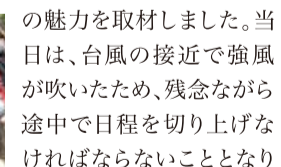
第78回現代美術展 入選 「依存症」 瀬戸杏樹



イオンモール白山1周年祭こびとづかん塗り絵 採用

地域美術演習

この授業は美術の力で地域や社会に貢献すること」を目的とした美術学科一年生の必修授業です。8月の事前研修において白山手取川ジオパークの魅力や、夏季集中授業として9月に白山市白峰地区を訪れて地域の魅力を取材しました。当日は、台風の接近で強風が吹いたため、残念ながら途中で日程を切り上げなければならぬこととなりましたが、それでも何とか晴れ間の中での取材ができました。この取材を元に、各コースの特色を活かした作品を後期に制作し、「地域美術演習成果展」として11月4日から11月25日まで白山美術館で展示しました。



僕の何かが全開。



制作/山西 柚葉 (マンガ・キャラクターコース)
4コマ漫画のコーナーは、美術学科学生の有志によって制作されています。同コースでは遊学館高等学校ホームページ「遊Yuコミック」での4コマ漫画の定期連載やイベントでの似顔絵描き、加賀千代女をテーマにしたアニメーション制作 (YOUTUBEにて配信) 等、幅広く活動しています。

図書館の一般開放

白山市民 (18歳以上) の方であれば本学図書館の資料を閲覧できます。現在、一時的にご利用の制限をしております。利用可能日時につきましては「金城大学図書館」で検索していただきHPをご参照下さい。

走り続ける金城短大卒業生のご活躍やメッセージをご紹介します

KINJO RUNNER

蝶屋こども園
干場麻衣
(2021年卒業)



保育の仕事の魅力

白 山市の蝶屋こども園に就職して2年目を終えようとしています。2年続けて1歳児いちご組を担当し、現在は、24人の子どもを6人の保育者でみています。日々の保育を通して、先輩方からは多くのことを学ばせてもらっています。まだまだ失敗や、上手くいかないこと、落ち込むこと、悔しい思いをすることが沢山ありますが、失敗から学ぶことも多く、やり甲斐や達成感を感じることも出来る素敵な仕事だと思っています。

私は子どもが大好きです。保育者を目指そうと思ったきっかけは2つありました。1つ目は、私が保育園に通っていた頃、いつも優しく寄り添ってくれた先生への憧れです。登園時、親から離れて泣いていた時に、泣き止むまで傍に居て抱っこをしてくれた先生の優しさ、何かに挑戦して上手く出来た時には、自分のことのように喜んでくれ、たくさん褒めてくれた嬉しさに、会えることを楽しみに毎日保育園に通っていた記憶があります。

2つ目は弟の存在です。私には年子の弟と15歳離れた弟がいます。保育を志すきっかけになったのは、15歳離れた弟が生まれたことです。その子の成長を親と一緒に身近で見ていたことにより、子どもの成長の早さに驚き、不思議に思うことが増え、保育を勉強したいと思うようになりました。そして、保護者とともに子どもの成長を見守り、喜び合える保育者になりたいと思いました。

私の出身は石川県能登町です。幾つもの学校の「オープンキャンパス」に参加し、金城短大の幼児教育学科を受験することに決めた理由は、2年生で「特化」の授業があることと、2年間で無理なく「幼稚園教諭2種免

許」「保育士資格」の2つを取得できるカリキュラムになっていたことです。勉強は得意ではありませんでしたが、金城の先生方は分かりやすく授業をしてくださり、いつも親身になって相談にのってくださいました。保育の勉強が好きになり、2年間頑張つて勉強をして免許・資格を取ることができました。同じ目標に向かってる友達がいちからこそ、一緒に頑張れたと思います。友達の誕生日サプライズをクラスでしたり、アパートに帰ってから何気ないことで友達と笑い合ったり、ドライブに行き息抜きしたりしたことなど、楽しい思い出もたくさんあります。

私が、「保育者になってよかった」と思うことは数えきれないほどありますが、3つ紹介します。

1つ目は、朝登園して来た子どもが笑顔で駆け寄ってきて「まいせんせい」「おはよう！」と言って抱きついてきてくれることで、たくさんのパワーをもらい、「一日頑張ろう」と思えることです。子どものパワーは偉大だと日々実感しています。仕事で失敗したり、落ち込むようなことがあっても、子ども達の笑顔や頑張っている姿を見ると、「私も負けていけない」「頑張ろう」と思います。子ども達には日々感謝です。



2つ目は最近の出来事ですが、担当している女の子が「お姉ちゃんになる」と言う報告を一番に聞いたことです。その時のエピソードを少しお話しします。ある日の降園時、お母さんが「まい先生に一番に話したいことがあるんです。赤ちゃん出来ました！〇〇がお姉ちゃんになります！」と話してくださいました。お母さんのキラキラしている姿を見た時に、

この仕事を選んで本当に良かったと思いました。とても幸せな気持ちになり、一番に話したかったと言われたことが嬉しく、改めて、もっと保護者に寄り添える保育者になろうという思いを強くしました。



3つ目は、0歳から2歳になるまでの成長の早さを感じられた時です。ミルクだけだった子どもが離乳食や幼児食を食べられるようになったり、ハイハイしていた子どもが歩けるようになったりと、いろいろな面で子どもの成長はすごいスピードです。その成長を保護者と共に喜び合い、見守っていけることが一番の喜びです。また、園で出来たことが家庭でも出来るようになり、保護者に感謝された時には、達成感にも繋がります。

保育者という仕事は本当にやり甲斐を感じる仕事です。「子どもが好き」と言う気持ちがあるなら一歩を踏み出してみてください。大変なこと、辛いこともあるかもしれませんが、1人で抱え込まず、周りの友達や先生を頼ってください。実習や保育現場に出た際には、「保育って楽しい」「保育者になりたい」と希望に満ち溢れると思います。学生時代には「人との関わり」を大切にしながら、保育のことをたくさん学び、ぜひ保育現場で発揮してほしいです。皆さんの活躍を願い、一緒に働けることを楽しみにしています。

年間 PICK UP

おいしいトコどり♪

ハロウィンまでもう少し

校内散歩!! ~知る人ぞ知るスポット編~

もぎたて ORANGE! とは金城大学短期大学の公式学生ブログです。各学科の授業やイベント、日々の雑記などのキャンパスライフを学生ブロガーが日々お届けしています。その中から選りすぐりの記事をご紹介します♪

学食ランキング

今回は、入学してから毎日学食を食べてきた私のおすすめ学食Lunchベスト3を紹介します★

- 第3位 チキンソテー
- 第2位 パターチキンカレー
- 第1位 牛肉のブルコギ

このランチは食べた瞬間に、絶対リピートしようと思えました(^_^)

石川の魅力をアピールしよう!

皆さんこんにちは!まふゆ@ORANGEです。この授業は、1つのテーマに沿って地元をアピールする、美術学科の学生とのコラボレーションする授業です!美術の学生がお皿などを提供してくれ、ビジネスの学生が地元の特産品などを使って料理を作りました!

それ行け デザイン・ビジネスコースの遠足

こんにちは!のら男@ORANGEです。今回は21世紀美術館にデザイン・ビジネスコースの皆で遠足に行ってきました!今回訪れたのは「第49回金沢ペーパーショー」です。色々な種類の紙や素敵なデザインと出会うことが出来てとても胸が弾みました!

綺麗な卵焼きを作ろう!

こんにちは~ひかり@ORANGEです!とうとう天気予報に雪マークが出るようになりましたね!どおりで最近寒いわけですね!今回は「テーブルコーディネート演習」という授業で卵焼きを作った時の様子をレポートしたいと思います!

後期試験が始まる!!

こんにちは!芋けんび@ORANGEです。2月に入りましたが雪も降って、まだまだこの寒さは続きそうですね。しかし、こんな大変な時期にとうとう来てしまいました、後期試験の時期が...

金城公演『ZUTTO』by KDC

皆さん、メリークリスマス!芋けんび@ORANGEです。皆さんは何をして過ごしましたか?私はダンス部の公演に出演していました。ダンス部は私の代で25代目で、公演はなんと20回目!!